



主な内容

- 1~3…市民広報特派員リポート「名張に惚れて移住しました。」
- 3…市民広報特派員・広報なばりメールサポーターを募集
- 4…年金通信、親子すくすく行事、国津の杜の行事

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



市民広報
特派員
リポート

名張に惚れて、 移住しました。

自身が住む古民家に大阪から若者を招き、男女の「恋活」を応援するイベントも開催。「都会では体験できない、名張の豊かなところを若い人に伝えたい」と井上さん。つつじが丘で仲良くなった人も参加してとっても賑やか!

◎名張に引っ越してきました

私は、大阪で「自然と共に豊かに生きる会」という団体を立ち上げて、農業をしたことのない仲間とともに、米作りやこんにゃくもの栽培などに挑戦したりしていました。自然と共に豊かに生きている人たちがそんな生き方に魅力を感じている人をつなげながら、みんなで自然を楽しもうという活動です。

名張との接点は、インターネットで知った「赤目自然農塾」。米作りを学べる場で、会のみんなで名張に通いながら米作りを楽しんでいました。そのうち、名張の魅力に惹かれていき、ついには平成23年8月、長年住み慣れた大阪の地を離れ、家族と自然豊かな名張に移住してきたのです。会の拠点も名張に移し、現在、大阪の仲間も一緒に名張を堪能しているところです。

名張に来てからというもの、感動してばかり。ただ、ずっと住んでいらっしやる皆さんは、

「ふくん、そんなこと当たり前だけども」とおっしゃいます。そこで、「移住者からみた名張の素晴らしさ」を地元の皆さんにお伝えしたいと思いを立ちました。

◎星がとってもきれい

名張ではじめに住んだのがつつじが丘。空気が澄んでいて夜空の星がとってもきれいなところ。冬は少し(いえ、かなり)寒いと思いましたが、そんな寒さは反対に、近所の皆さんは温かい人ばかり!すぐに皆さんと仲良くなり、地域の皆さんが運営されている「趣味のクラブ」もたくさんあります。仕事をリタイアしても退屈することなく習い事や趣味を楽しむことができ、皆さんイキイキ。私もリタイアしたら、いろんな趣味を持ちたいと思いました。

◎タイムスリップ

名張に引っ越して1年が経ち、縁あって東田原の「古民家」に引っ越しました。ここはつつじが丘とは違う雰囲気。昔ながらの風習がたくさん残っていて、まるで、タイムスリップしたみたいで、念願の田舎暮らしに胸を躍らせました。

今回のリポーター >> 自然と共に豊かに生きる会 井上 早織さん(東田原)

都会出身者が地方に移り、定住する「ターン」を果たした井上さん。定住の地を選んだのは、名張でした。井上さんは、名張のことを「ハイブリッドな(異なったものを混ぜ合わせた)まち」と表現します。関西のような中部のような、都会すぎず田舎すぎず、

いろんなライフスタイルが選べるところが魅力なんだそうです。

いまでは、自身が代表を務める「自然と共に豊かに生きる会」の仲間や、名張で豊かに暮らすさまざまな人とつながりながら、名張での暮らしを、エネルギーに楽しんでいます。

今回は、市民広報特派員として、移住してきて感じた名張の魅力をリポート(報告)いただきました。「外なる魅力」は「内なる誇り」にも通じます。名張に住み続けている人たちが当たりまえに感じている光景は、移住してきた人に、どのように写っているのでしょうか…。

【市民広報特派員リポート】市民参加の広報紙づくりを行うため、市では市民広報特派員を委嘱。地域のさまざまな課題や出来事などについてリポート(報告)いただいています。現在、平成25年度の市民広報特派員を募集中です(詳しくは3ページをご覧ください)。



▼2.3ページへ続きます